

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	コンクリート 構造物 工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 5. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の品質及び規格が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 鉄筋の組立・加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. パーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 14. その他（理由） <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	b	60%以上75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。
 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																															
3.出来形及び出来ばえ II.品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																															
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 1. 雨水による崩壊及び流出等が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 段切りを設計図書の仕様に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 締固めが設計図書の仕様に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 設計図書に定められた一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. CBR試験・締固め試験等の品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 11. 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由 _____）																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																	
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																	
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																												
3.出来形及び出来ばえ II.品質	土工事 (河道開削工事) ※河川内に堆積した土砂を撤去する「堆砂除去工事」は除く	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																												
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. 土及び岩の分類の境界が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 施工中、滞水を生じないような排水状態を維持していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 建設発生土が設計図書または協議がなされた場所に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 河川管理施設、許可工作物等、他の施設の機能に支障を与えることなく、適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 掘削順序、方向または高さ等について、承諾を得た上で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 軟岩掘削及び硬岩掘削において、浮石等が残っていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 掘削工の施工中において、地山の挙動を監視（目視点検含む）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 11. 上下流河床とのすり付けについて、適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由） <input type="checkbox"/> 13. その他（理由）																																	
		●判断基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <th>75%以上 90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>60%以上 75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
		50%以下	80%以下	80%を超える																															
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																														
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																														
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																														
	60%未満	b'	c	c	c																														
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																	

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）=該当項目数（ ） / 対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ II.品質	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 裏込材及び胴込めコンクリートは、設計図書の仕様を満足し、締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 石積(張)において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. コンクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 水抜き孔の施工にあたって、設計図書の定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 16. その他（理由）					①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ） ÷評価対象項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																													
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c		
	90%以上	ばらつきで判断可能					ばらつきで判断不可能																													
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)・ 鋼製シェード工事	<p>□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。</p> <p>【評価対象項目】 【工場製作関係】</p> <p>□ 1. 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □ 2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ 3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 □ 5. 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 □ 6. 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 □ 7. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 □ 8. 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □ 9. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 □ 10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ 11. その他(理由)</p> <p>【架設関係】</p> <p>□ 12. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □ 13. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □ 14. 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □ 15. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 □ 16. 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 □ 17. 架設に用いる仮設備及び架設用機材について、品質、性能が確保できる規模及び強度を有することを認識していることが確認できる。 □ 18. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □ 19. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □ 20. 現場塗装において、温度、湿度及びその他気象状態の確認を行っていることが確認できる。 □ 21. その他(理由)</p>					<p>□ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。</p>																														
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																			

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

<p>3.出来形及び出来ばえ</p>	<p>II.品質</p>	<p>a</p>	<p>a'</p>	<p>b</p>	<p>b'</p>	<p>c</p>	<p>d</p>
<p>砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)</p>	<p>品質</p>	<p>□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p> <p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。</p>					<p>□ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。</p>
		<p>【評価対象項目】</p> <p>[共通]</p> <p>□ 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>□ 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>□ 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>□ 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>□ 5. コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>□ 6. 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</p> <p>□ 7. 鉄筋及び鋼材の品質及び規格が、証明書類で確認できる。</p> <p>□ 8. クラックが無い。</p> <p>□ 9. その他(理由)</p> <p>[砂防構造物工]</p> <p>□ 10. コンクリート打設まで、錆、泥、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>□ 11. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 12. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>□ 13. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 14. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>□ 15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>□ 16. その他(理由)</p> <p>[地すべり防止工(抑止杭、集水井戸工を含む)]</p> <p>□ 17. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 18. ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>□ 19. ライナープレートと地山との間隙が少なくなるように施工していることが確認できる。</p> <p>□ 20. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び延長が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p> <p>□ 21. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。</p> <p>□ 22. 杭の水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 23. 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>□ 24. 既製杭の溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 25. 場所打杭の配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 26. その他(理由)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数()</p> <p>④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>					
		<p>次ページに続く</p>					

3.出来形及び出来ばえ

II.品質

砂 防
構造物
工 事
及び
地すべり
防止工事
(集水井
戸工事を
含む)

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90 %以上	a	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

3.出来形及び出来ばえ II.品質	工種 舗装工事	a	a'	b	b'	c	d
		<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		<p>【評価対象項目】 [路床工・路盤工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に定められた試験方法で CBR 値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 路盤の安定処理は、材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 路床盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由） <p>[アスファルト舗装工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 9. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎に、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書の仕様で定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. その他（理由） <p>[アスファルト舗装補修工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 18. 施工に先立ち、現地を調査し、現況縦横断勾配の修正及び基準高等について、協議していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 舗装工の施工に先立ち、切削後の表面の有害物等を除去し清掃していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 切削後の舗装面のクラックが適正に補修されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 路上再生工の施工にあたって、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. その他（理由） <p>[コンクリート舗装工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 23. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. 曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 					

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。
 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）
 ÷対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

舗装工事

- 27. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
- 28. 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
- 29. チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
- 30. 金網の施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 31. その他(理由)

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ II.品質	海岸工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		【評価対象項目】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 4. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 破損、転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び待避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由 _____） <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

⑨ 3.出来形及び出来ばえ	工種	a	a'	b	b'	c	d
II.品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		<p>【評価対象項目】 [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. その他（理由) <p>[種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 5. 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. ネットなどの境界に隙間が生じないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 吹付け厚さが、均等であることが確認できる <input type="checkbox"/> 9. 使用する材料の種類、品質及び配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <p><input type="checkbox"/> 10. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. その他（理由)</p> <p>[コンクリート又はモルタル吹付工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 12. 使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 金網が、破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 吹付け厚さが、均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. クラックや剥がれが無い。 <input type="checkbox"/> 22. その他（理由) <p>[現場打設法関係（プレキャスト法打設含む）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 23. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 27. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 30. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 32. その他（理由) 					

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

法 面
工 事

[アンカー、ロックボルト工]

- 33. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。
- 34. 部材に錆、傷がないことが確認できる。
- 35. グラウト注入が適正に施工されていることが確認できる。
- 36. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。
- 37. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90 %以上	a	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ II.品質	基礎工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p>【評価対象項目】 [杭工関係(コンクリート、鋼管、鋼管井筒、場所打、深礎等)]</p> <input type="checkbox"/> 1. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. その他(理由) [地盤改良工関係] <input type="checkbox"/> 14. 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. その他(理由) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	コンクリート橋工事 (PC(購入桁を含む)及びRCを対象)・コンクリート製セット工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
		【評価対象項目】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5. コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 鉄筋(PC鋼材含む)の品質及び規格が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. スパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. プレビーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 19. その他(理由) 																																			
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																			
		●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																															
3.出来形及び出来ばえ II.品質	塗工 装事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																															
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 1. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. その他（理由 _____）																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																	
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																	
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																				

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 坑内観察調査等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 金網の継ぎ目を15cm（一目）以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上で、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや防護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 16. その他（理由 _____）					①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は評価とする。																														
		●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <th>75%以上 90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>60%以上 75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ II.品質	植栽 工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 肥料が、直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由 ） ●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ II.品質	防護柵・標識 ・ 区画線等配置工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p>【評価対象項目】 [防護柵・標識関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 防護柵等の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由 _____） <p>[区画線関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 10. ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 熔融式、高視認性区画線の施工にあたって、設計図書に定められた温度で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 使用材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. その他（理由 _____） <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	造園工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 1. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の品質及び形状が設計図書の仕様を満足し、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 部品の品質及び形状が設計図書の仕様を満足し、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書の仕様を満足し、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され、良好に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由 ）																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																					

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	下水道工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. 品質管理において、設計図書の定めているとおりに行われており、かつ満足していることが確認出来る。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の品質及び規格が、設計図書の仕様を満足していることが証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 管渠工の設置において、設計図書の定めのとおり行われていることが確認でき、かつ目立った屈曲や沈下が無いことが確認出来る。 <input type="checkbox"/> 4. 管渠に影響を与えるクラック及び変形がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 管渠において漏水箇所がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 掘進機に関する諸機能等の詳細図、仕様及び応力計算書の提出がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 推進管の方向・勾配の測量、路面及び近接構造物の水準測量、ジャッキ圧の測定、支圧壁・土留壁の状況、土質状況の変化、推進管の状況等の測定・観測が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 切羽の泥水圧または土圧、排土量、推力、管中心位置、掘進量、作業時間等を毎日記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 推進管工等の裏込め材料が充分充填されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. マンホール工において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. マンホール工において、各部材にはクラック及び漏水がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、また、鉄蓋設置においては、ガタツキがなく、仕上がり天端高も適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. インバート工は形状、勾配が設計図書の仕様を満足し、漏水がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. インバート工は、その表面仕上げが適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が無かったことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 埋戻工において、締め固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 舗装復旧において、その施工が設計図書の仕様書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 立坑等（指定架設物）の施工及び仕様材料において、設計図書の定められているとおりに行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 地盤改良工において、使用材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の使用を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 23. その他（理由 _____）					
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（　）／対象評価項目数（　） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div>					
		次ページに続く					

3.出来形及び出来ばえ

下水道工事

●判断基準

Ⅱ.品質

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90 %以上	a	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	港湾築造工事 (浚渫、海岸築造工事を含む)	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
<p>【評価対象項目】 [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由 <p>[浚渫・床掘関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 9. 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に押さえていることが確認できる。 (大型船による施工で、作業日数短縮等も含む) <input type="checkbox"/> 16. 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的な作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認ができる。 <input type="checkbox"/> 21. 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. その他（理由 							
<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>							
<p>次ページに続く</p>							

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

港湾築造工事
(浚渫、海岸築造工事を含む)

[地盤改良関係]

- 23. 改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 24. 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。
- 25. サンドドレーン・砕石ドレーン、サドコンパクションバル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。
- 26. ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。
- 27. 深層混合処理の打込記録から、設計図書に定められている事項が確認できる。
- 28. 前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。
- 29. 盛り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。
- 30. 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。
- 31. 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。
- 32. マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。
- 33. 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが確認できる。
- 34. その他(理由)

[マット、捨石及び均し関係]

- 35. 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。
- 36. マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。
- 37. 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。
- 38. 裏込めが既設構造物及び砂防目地板の破損がなく、記録により確認できる。
- 39. その他(理由)

[本体：杭及び矢板、控工関係]

- 40. 鋼材の規格・数量が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。
- 41. 鋼材の保管に当たり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処理されていることが確認できる。
- 42. 杭及び矢板に損傷や修復痕がなく施工されていることが確認できる。
- 43. 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。
- 44. 腹起し材を全長にわたり規格の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。
- 45. タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。
- 46. 溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 47. その他(理由)

[本体：ケーソン据付、ブロック据付関係]

- 48. ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。
- 49. ケーソン据付に先立ち、気象、海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。
- 50. ケーソン据付等及び中詰において、ケーソンおよび既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。
- 51. コンクリートブロック据付に先立ち、気象、海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。
- 52. ブロック据付等において、ブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。
- 53. ケーソンえい航に先立ち、気象、海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。
- 54. ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。
- 55. ケーソン注水時の隔室の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。
- 56. ケーソン仮置き、据付の時期について、設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。
- 57. 中詰において、海上漏出がないように施工されていることが確認できる。
- 58. その他(理由)

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

港湾築造工事
(浚渫、海岸築造工事を含む)

[コンクリート関係]

- 59. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。
- 60. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 61. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 62. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- 63. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 64. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。
- 65. 鉄筋（PC鋼材含む）の品質が、証明書類で確認できる。
- 66. 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 67. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 68. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 69. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- 70. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 71. スパースの品質及び個数が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 72. スパースを適切に配置し、鉄筋の被りを確保していることが確認できる。
- 73. プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 74. 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。
- 75. PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 76. プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 77 その他（理由）

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	改良、舗装工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		<p>【評価対象項目】 [共通]</p> <input type="checkbox"/> 1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 使用する材料の規格がミルシート等で確認できる。 <p>[土工・路盤関係]</p> <input type="checkbox"/> 3. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 置き換えのための、掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 路床・路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 路盤工の施工に先だって、路床面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 補強盛土工等の施工について、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由） <p>[コンクリート関係]</p> <input type="checkbox"/> 13. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 17. その他（理由） <p>[芝・側溝等・付帯構造物等関係]</p> <input type="checkbox"/> 18. 芝又は種子吹付等を適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 法面にクラックや損傷部がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 側溝等にクラックや欠損がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 側溝等の施工（設置）位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 側溝等底部の凹凸や蛇行がなく施工がされており、側溝の接続と目地が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 付帯構造物等の施工について、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. その他（理由）					
		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。					
		次ページに続く					

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

改良、舗装工事

[アスファルト舗装関係]

- 25. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
- 26. 舗装工の施工に先だて、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- 27. プラント出荷時・現場到着時・舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
- 28. 舗設後の交通解放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 29. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた位置に数値以上であることが確認できる。
- 30. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 31. 縦目地及び横目地の位置・構造物との接合面の処理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 32. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
- 33. その他（理由）

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90 %以上	a	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	橋 梁 補 修 工 事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。 【評価対象項目】 [共通] <input type="checkbox"/> 1. 工事を実施する前に現場調査を十分調査し、実態にあった補修方法を選択し、監督員と協議して行っていること確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 補修時の天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 使用材料の品質及び規格について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工状況の経過が写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. クラックや破損が無い。 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由) [コンクリート補修] <input type="checkbox"/> 7. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 10. 錆汁や鉄筋が露出し錆が確認されている箇所は、確実に錆を落とし、防錆材を塗布して補修していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 鉄筋が錆びて鉄筋断面がやせ細っている箇所は、補強鉄筋が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由) [塗装補修] <input type="checkbox"/> 13. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. その他（理由) [舗装補修] <input type="checkbox"/> 21. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. その他（理由)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ） ／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ） ／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ） ／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ） ／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ） ／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

橋補工
梁修事

- [高欄補修]
 27. アンカーの深さ管理について、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。
 28. アンカー鉄筋の削孔により、既存地覆鉄筋に支障が無いように事前調査が確実に実施されていることが確認できる。
 29. 支柱の配置が適切に行われ、レールの通りが良いことが確認できる。
 30. その他（理由)
- [支承補修]
 31. 支承の交換に必要な部品等が適正に材料検収され、その記録が整理されていることが確認できる。
 32. 桁のジャッキアップに必要な仮設ブラケット等の撤去後の復旧が適正に実施されていることが確認できる。
 33. 無収縮モルタルについて、事前に品質試験（証明書も可）が実施されていることが確認できる。
 34. アンカーボルトの削孔長が、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。
 35. しゅう座モルタルの仕上げが丁寧であることが確認できる。
 36. その他（理由)
- [伸縮装置補修]
 37. アンカーの深さ管理について、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。
 38. アンカー鉄筋の削孔により、床版鉄筋に支障が無いように事前調査が確実に実施されていることが確認できる。
 39. 伸縮装置の遊間管理が、設計図書の定めのとおり行われていることが確認できる。
 40. 製品が錆等により腐食していないことが確認できる。
 41. その他（理由)

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90 %以上	a	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	落石及び雪害防止工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
<p>【評価対象項目】 [共通]</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 鋼材の規格が、ミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. その他（理由 _____）</p> <p>[落石防止網工]</p> <p><input type="checkbox"/> 4. アンカーの削孔深さ、削孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 金網の重ね幅が仕様書又は協議等により定められた幅以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 金網、ワイヤロープ等の配置が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由 _____）</p> <p>[落石防護柵工]</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 切土法面が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. その他（理由 _____）</p> <p>[防雪柵工]</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. その他（理由 _____）</p> <p>[雪崩予防柵工]</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. その他（理由 _____）</p> <p>[アンカー、ロックボルト工]</p> <p><input type="checkbox"/> 27. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28. 部材に錆、傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. グラウト注入が適正に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 30. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 32. その他（理由 _____）</p> <p>次ページに続く</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>							

3.出来形及び出来ばえ

Ⅱ.品質

落石及び雪防止工事

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90 %以上	a	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																															
3.出来形及び出来ばえ II.品質	電線共 同溝工 事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																															
		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. 使用材料の品質及び規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 管路の通過試験を行っており、試験結果から導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 構造物の埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等がないよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 蓋の設置において、ガタツキ等が無く敷設されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 管理設において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由）					①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																															
		● 判断基準																																				
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <th>75%以上 90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>60%以上 75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																	
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																	
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																						

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ II.品質	維持繕工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p>【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>● 判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。
 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。